

図書館通信

最上校図書委員会

No.25 2月13日



第3回 朝読書が始まります！

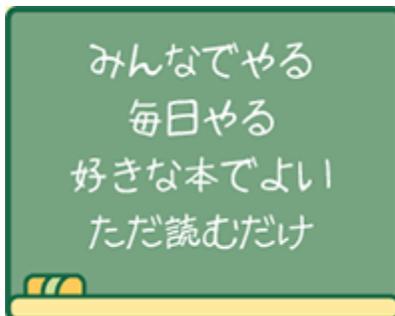
朝読書の4原則

期間 2月19日(月)～3月6日(水)
時間 8時20分～8時30分(10分間)

※朝読書記録カードに、記入しましょう。

※雑誌やマンガ以外、読みましょう。

※本は前もって準備しておきましょう。



2月図書館企画

バレンタイン特集！



1月19日～29日まで、10冊の恋愛青春小説の中から、投票をしてもらいました。その中から、票数の多かった以下の5冊を購入しました。

ぜひ、朝読書に読んでみましょう。

- 1位 『君がいなくなるその日まで』 永良サチ著
- 2位 『きみは僕の夜に閃く花火だった』 比見えこ著
- 3位 『君の世界からわたしが消えても』 羽衣音ミカ著
- 4位 『夜を裂いてもひとりぼっちの君を見つける』 ユニモン著
- 5位 『はじめました、僕のずっと好きな人』 春日モカ著



朝読書にオススメの最新刊図書！



『ファラオの密室』 白川尚史著

冥界の審判を受けるため、かけた心臓を探しに3日間だけ現世に蘇ったミイラのセティ。地上では王の遺体がピラミッドから忽然と消え、人々はアテン神以外の信仰を禁じた王の意思ではないかと疑う。

不可能犯罪か神の御業か!? 古代エジプトの信仰を背景に描かれる本格ミステリー!

『風に立つ』 袖月裕子著

家族だから伝わらない想いがある。

非行少年を預かることになった不器用な父と子。

『シャーロックホームズの凱旋』 森見登美彦著

「天から与えられた才能はどこへ消えた?」舞台はヴィクトリア朝京都。洛中洛外に名を轟かせた名探偵ホームズが、まさかの大スランプ!?

『17歳のピオトープ』 清水晴木著

謎多き校務員と悩みを抱える4人の高校生が織りなす物語。

『無敵の犬の夜』 小泉綾子著

北九州の片田舎で暮らす中学生が、東京のラッパーを倒しにカチコミへ向かうという破格の青春爆走劇。

『変な家 2』 雨穴著

あなたは、この「11の間取り」の謎が解けますか? 前作に続き、フリーライターの筆者と設計士・栗原のコンビが不可解な間取りの謎に挑む

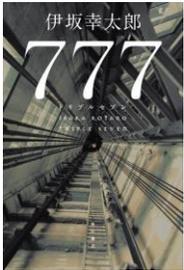
『犬は知っている』 大倉崇裕著

癒やしのファシリティー犬「ピーボ」とわけあり警察官が知られざる重大事件を鮮やかに解決! 死を前にした犯罪者はピーボに癒やされ、語り出すのだった。そしてピーボとコンビを組むハンドラーの笠門巡査部長は捜査を開始する。史上初、犬が主役の警察小説!

※ぜひ、図書館へ



朝読書にオススメの新刊！



『777』 伊坂幸太郎著

そのホテルを訪れたのは、逃走中の不幸な彼女と、不運な殺し屋。彼女を狙って、非合法な裏の仕事を生業にする人間たちが集う。そのホテルには、物騒な奴らが群れをなす！

『シェニール織とか黄肉のメロンとか』 江國香織著

かつての「三人娘」が織りなす幸福な食卓と友情と人生に乾杯！作家の民子、自由人の理枝、主婦の早希。そして彼女たちをとりまく人々の楽しく切実な日常を濃やかに描く、愛おしさに満ちた物語。

『あなたが誰かを殺した』 東野圭吾著

閑静な別荘地で起きた連続殺人事件。愛する家族が奪われたのは偶然か、必然か。残された人々は真相を知るため「検証会」に集う。私たちを待ち受けていたのは、想像もしない運命だった。

『隣人を疑うなかれ』 織守きょうや著

連続殺人かもしれない。自宅マンションに殺人犯が住んでいる？死体はない、証拠もない、だけど不安が拭えない。

『存在のすべてを』 塩田武士著

平成3年に神奈川県下で発生した二児同時誘拐事件から30年。当時警察担当だった記者の門田は、旧知の刑事の死をきっかけに、誘拐事件の被害男児の今を知る。彼は気鋭の画家として、脚光を浴びていた。最大の謎異様な展開を辿った事件の真実を求め、取材を重ねた結果、ある写実画家の存在に行き当たるが？

『いまこそガーシュウィン』 中山七里著

アメリカで指折りのピアニスト、エドワードは、大統領選挙の影響で人種差別が激化し、変貌しつつある国を憂い、音楽で何かできないか模索していた。音楽の殿堂、カーネギーホールで流れるのは、憎しみ合う血が、感動の涙か。



『青春をクビになって』 額賀濤著

夢の諦め方は、誰も教えてくれない。「雇止め」という冷たい現実を前に、研究を愛するポスドクが下した決断は。

青春の^{しま}い方。社会に横たわる痛切な苦みを描く。

『鶴の碑』 京極夏彦著

発掘された古文書の鑑定に駆り出された古書肆は、纏れ合いキメラの如き様相を示す化け物の幽霊を祓えるか。

『ヒロイン』 桜木紫乃著

世間を震撼させた白昼のテロ事件から、17年。名を変え他人になりすまし、無実の彼女はなぜ逃げたのか？流れ着いた地で彼女が見つけた本当の罪とはいったい何だったのか？

『列』 中村文則著

「君だって、列に並びたいから、並んでたんだろ？」ある動物の研究者である「私」はいつのまにか「列」に並んでいた。先が見えず、最後尾も見えない。だれもが互いを疑い、時に軽蔑し、羨んでいる。この現実生きる私達に救いは訪れるのだろうか。

『スピノザの診察室』 夏川草介著

雄町哲郎は京都の町中の地域病院で働く内科医である。三十代後半、最愛の妹が若くしてこの世を去り、一人残された甥の龍之介と暮らすためにその職を得たが、かつては大学病院で将来を囑望された凄腕医師だった。哲郎の医師としての力量に惚れ込んでいた大学准教授の花垣は、愛弟子の南茉莉を研修と称して哲郎のもとに送り込むが。

『君が手にするはずだった黄金について』 小川哲著

認められたくて、必死だったあいつを、お前は笑えるの？青山の占い師、80億円を動かすトレーダー、ロレックス・デイトナを巻く漫画家。著者自身を彷彿とさせる「僕」が、怪しげな人物たちと遭遇する連作短篇集。彼らはどこまで嘘をついているのか？

『続窓際のトットちゃん』 黒柳徹子著

国民的ベストセラー、42年ぶり、待望の続編！世界中で愛されている、あのトットちゃんが帰ってくる！泣いたり、笑ったり、トットの青春記。

